

## Weekly Reports 2021-2022



国際ロータリー第2680地区  
**Rotary**  
加古川ロータリークラブ



2021-22年度 RI会長;シエカール・メータ/地区ガバナー;吉岡 博忠  
加古川ロータリークラブ会長;藤本 光一 / 幹事;畑 公平  
〒675-0064 兵庫県加古川市加古川町溝之口800番地 加古川商工会議所会館5F  
TEL 079-423-0661 FAX 079-423-0677 e-Mail kakogawa@rotaryclub.ne.jp

令和3年11月16日(火) 晴 No. 13



会長挨拶



山本ロータリー財団委員長



地区財団佐茂副委員長

### 会長の時間

会長 藤本 光一

皆さんこんにちは

今月はロータリー財団月間となっております。

地区よりロータリー財団委員会 佐茂省治様にお越しいただいております。

佐茂様は何度か来ていただいております。2017年にも、雑誌委員会の卓話で「ロータリーの友」についてお話をいただいたようです。本日はロータリー財団について講演をいただきます。後程よろしくお願いたします。

「ロータリーの友」11月号の記事の中で、ロータリー財団管理委員長 JOHN F.GERM 氏からのメッセージが掲載されています。題して「ロータリー財団のことをご存じですか」ということで、その一部を紹介させていただきます。

ロータリー財団とは何かと聞かれると「ロータリーの心臓」と私は答えています。皆さんはどれくらい財団のことをご存じですか。(中略)

ロータリー財団は真の意味で私たちの財団です。私個人やその他14人の管理委員やRIの理事会、あるいはRI会長のものではありません。世界中のロータリアン一人一人のものなのです。そして私たち一人一人が世界を変えるために存在しています。

問題を抱えた地域社会に対し大規模プロジェクトを管理する能力を活用し平和、教育、経済的な安定性のための支援を行っています。(中略)

財団に寄付するのは賢い選択だといえます。寄付額は何倍もの価値になって返ってくるのですから。たまに「財団にはどれくらい寄付するべきでしょうか」と聞かれることがあります。毎年、ご自分に無理のない範囲で寄付すればいいのです。人によっては100ドルかもしれないし、それ以上かもしれない。何より大事なことは寄付することです。それがますます必要とされているグローバル補助金や他のプロジェクトを支えることになるのですから。...

ということで本日は財団について学んでいきたいと思っております。

### 幹事報告

- 1) ☆他クラブニュース  
例会変更のお知らせ

- 高砂RC ◇12月17日(金)→高砂青松 RC との合同例会のため  
於;ウエディングパレス鹿島殿
- ◇12月24日(金)→休会[定款第7条第1節(d)]
- ◇12月31日(金)→休会[定款第7条第1節(d)]
- 高砂青松RC ◇12月15日(水)→高砂 RC との合同例会のため 17日(金)  
於;ウエディングパレス鹿島殿
- ◇12月29日(水)→休会[定款第7条第1節(d)]
- 加古川平成RC ◇12月15日(水)→忘年家族例会のため 18日(土)午後6時～  
於;加古川プラザホテル2階「瀬戸の間」
- ◇12月22日(水)→休会[定款第7条第1節(d)]
- ◇12月29日(水)→休会[定款第7条第1節(d)]

- 2) BOX にハイライトよねやまを入れております。
- 3) 加古川みどりの会からのお知らせを回覧します。
- 4) 次週23日(火)は祝日のため、例会はありません。また30日(火)も25日(木)午後6時～の会員親睦例会に例会変更となっており、例会はありません。お間違えの無いようお願いいたします。



- 省 略 ☺ 本日は卓話にお招きいただきありがとうございます。
- 省 略 ☺ 地区ロータリー財団委員会補助金小委員長、佐茂省治様、本日はよろしくお願いいいたします。
- 省 略 ☺ 本日のゲスト卓話、佐茂様ようこそお越し下さいました。どうぞ宜しくお願いいたします。
- 担当の山本委員長宜しくお願いします。
- 省 略 ☺ 地区ロータリー財団委員会補助金小委員長 佐茂省治様をお迎えしたよろこび。
- 省 略 ☺ 欠席ばかりで申し訳ありません。
- 省 略 ☺ 佐茂省治様ようこそいらっしやいました。
- 省 略 ☺ 佐茂様、いつもお世話になっています。
- 本日も宜しくお願いします。
- 省 略 ☺ 佐茂省治様、遠方よりありがとうございます。本日、卓話よろしくお願ひ致します。
- 省 略 ☺ 結婚記念日のお花をいただきました。ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 結婚記念日の花ありがとうございます。
- 省 略 ☺ テーブルの花いただきます。

以上11件 ¥18,000-  
本年度累計¥582,000-

### 出席委員会

- ☆ 今 週 会員数 72 名 出席 34 名 出席免除 16 名 欠席 22 名  
☆ 欠 席 者 省略
- ☆ 前 々 週 会員数 72 名 出席 44 名 出席免除 14 名 欠席 14 名  
☆ ゲ ス ト 地区ロータリー財団委員会副委員長・補助金小委員長  
佐茂 省治氏(尼崎中 RC)

## 親睦活動委員会

例会場当番

11月25日(木) 松尾、安井  
12月 7日(火) 大西、前川真



## プログラム委員会

11月16日(火)	11月23日(火)	11月30日(火)	12月7日(火)
フォーラム・ゲスト卓話 「補助金事業について 過去の補助金事業を中心に」 地区ローター財団委員会 副委員長・ 補助金小委員長 佐茂 省治氏 ローター財団委員会担当	休会 (祝日)	例会変更 (日時・場所変更) 会員親睦例会 25日(木) 午後6時～ 於;加古川 プラザホテル2階	総会・ クラブ協議会 次年度理事選挙

フォーラム・ゲスト卓話

「補助金事業について 過去の補助金事業を中心に」

地区ローター財団委員会副委員長  
補助金小委員長 佐茂 省治

### 1. ローター財団とは

#### 1. 1. 財団の使命と位置づけ

ローター財団は英語で言いますと、「The Rotary of Foundation of Rotary International」国際ローターのローター財団が正式名称です。そしてローター財団の構成員は国際ローター唯一つ、財団の統治主体である管理委員会メンバーはRI会長エレクトが推薦し、RI理事会が選出することになっています。すなわち、ローター財団は、国際ローターのガバナンスの下にあると言えます。

国際ローターの使命は「職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、①人々に奉仕し、②高潔さを奨励し、③世界理解・親善・平和を推進すること」です。

一方、ローター財団の使命は「ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解・親善・平和を構築できるよう支援すること」です。このようにローター財団は「国際ローターの使命」を達成するための仕組みである、と言えます。ローター財団と国際ローターは理念上も実際上も一つのローターとして機能しています。

では、なぜローター財団は国際ローターと別組織、非営利財団法人にしたのでしょうか？その理由は2つあります。第一に法人運用益の免税や寄付者の所得控除という税制上の優遇措置を得るためです。第二に多額の資金管理を専門的に行うためです。その結果、ローター財団は、ロータリアンの奉仕活動を支えるために、世界のロータリアンから集められた公金を、独立して公正に管理する金庫番、という位置づけとなります。

#### 1. 2. 財団の活動

ローター財団の寄付には次の3種類あります。

- ①年次基金: 寄付年度ごとに管理され、寄付の3年後に財団プログラムの原資となります。
- ②恒久基金: 寄付の元金には手を付けずに、毎年の運用益のみが財団プログラムの原資となります。
- ③使途指定: ポリオプラスや平和フェローシップはじめ、あらかじめ決められた事業にのみ使われます。

寄付によって集められたMoneyお金をValue価値あるものに変えることがロータリー財団の存在意義です。具体的なプログラムとして補助金、その中には地区補助金とグローバル補助金、ポリオプラス、平和フェロシップがあります。

## 2. 財団プログラム

### 2. 1. 補助金プログラム

地区補助金の対象事業分野は「財団の使命」に関する事業とされ、奉仕プロジェクト・奨学金・職業研修チーム(VTT)があります。その事業規模は比較的小規模で短期的影響を目標とし、地区から一括で年1回ロータリー財団へ申請します。グローバル補助金の対象事業分野は「7つの重点分野」とされ、人道的プロジェクト・奨学金・職業研修チーム(VTT)があります。大規模で30,000米ドル以上の長期的かつ持続可能な影響を目標とし、2か国のクラブ・地区の協同で提唱し、案件ごとにロータリー財団へ申請します。

### 2. 2. ポリオプラス

2021年の野生型ポリオウイルスの症例数は、パキスタンで1人、アフガニスタンで1人の合計2人と報告されています。ポリオが根絶されたならば、

1. ポリオによって一生涯苦しむ子供がいなくなります。
2. 低所得国で40億ドルから50億ドルの経費が節減できます。
3. ポリオプラスで構築したインフラを他の疾病、COVID-19など新しい感染症の疾病対策にまわせます。このような恩恵がもたらされます。残る0.1%のポリオ根絶に向けてロータリー財団は活動をしています。皆様のご理解とご協力をお願いします。

### 2. 3. ロータリー平和センター

ロータリー平和センターは7つあり、8つの大学に設置されています。このうち、5つのセンターでは、平和と開発に関する修士号取得プログラムを提供しています。これらに加え、二つの平和センターでは、平和と紛争研究に関する専門能力開発修了証取得プログラムを提供しています。場所は、タイのチュラロンコン大学と2021年夏にウガンダのマケレレ大学に開設されました。

## 3. 補助金事業について

### 3. 1. 補助金事業の概要

ロータリー財団において補助金を使用する際のルールが「授与と受諾の条件」に記載されています。特徴的な条件としては次の3つが挙げられます。

- ①寄付・寄贈だけの事業はダメということになっています。すなわち、ロータリアンがその事業に参加し献身、汗をかくことが必要となっています。
- ②他団体の運営や事業に充てるのはダメということになっています。あくまでも財団のお金はロータリアンの奉仕活動を支える基金だからです。
- ③補助金(=公金)の管理運用については、公正性・合理性・透明性の確保が求められているとともに、対外的な説明責任も必要です。すなわち、ガラス張りの事業構築及び実施、報告が必須です。

ロータリー財団の補助金事業を行う上は以下の4つがあると言われています。

- ①より大きな規模の奉仕プロジェクト事業や奨学金が可能となります。たとえば、地区補助金の奉仕プロジェクトでは最大2倍、地区奨学金(タイプ1・2・3)は5倍、グローバル補助金の人道的プロジェクトは6.4倍、グローバル補助金の奨学金とVTT(職業訓練)は11.8倍の事業が可能となり、経済的メリットがあります。
- ②インパクトの大きな地域貢献を通じて、ロータリークラブの認知度アップや公共イメージ向上が図れます。また、地域とのネットワークづくりや諸団体とのパートナーシップ構築に役立ちます。そのためには、地域社会の共感が得られるような公共性の高い事業内容と効果的な広報が必要となってきます。
- ③ガラス張りの事業ゆえ、立案・実施・管理にわたって高水準の規律が求められ、そのための要領がきちんとマニュアル化されています。運営マナーとノウハウがクラブの財産となり、年々新たなプロジェクトに取り組むことで創意工夫が生まれていくこととなります。

④そしてプロジェクトでも体験と成果がクラブメンバーの充実感と誇りとなり、クラブの求心力や活性化につながると言われています。

### 3. 2. 地区補助金

地区補助金奉仕プロジェクトは、「地域のニーズや課題に応えた小規模な予算のプロジェクト」です。事業趣旨がロータリー財団の使命、すなわち「ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解・親善・平和を構築できるよう支援すること」です。ロータリアンが直接参加すること、いわゆる「ロータリアンが汗をかく」ことです。地区補助金奉仕プロジェクトは、国内だけでなく、国外のロータリーがない国でも実施可能であることがその特徴です。

ロータリー財団への申請は年1回、2680地区では毎年前年度の6月上旬に一括申請をいたします。個別プロジェクトの採択権は地区に委ねられているため、各クラブの申請に柔軟に対応できます。2680地区では、社会奉仕小委員会、国際奉仕小委員会、VTT小委員会、奨学金・平和フェローシップ小委員会が指導や事前審査を行い、最終的に補助金小委員会で審議をいたします。

地区補助金奉仕プロジェクトでは、地域社会が抱えるニーズや課題を調査する、「地域社会調査」が重要になってきます。主なテーマとしては、弱者支援、教育支援、環境問題、青少年育成支援、防犯・安全支援、保健・衛生、伝統文化承継支援などがその切り口として考えられます。それぞれ関係する対象に調査をするのがよいと思われます。

まず、プロジェクト委員会を最低3名で立ち上げてください。予算規模が大きい場合は協力、協同提唱クラブ募ることもよいと思います。検討すべき事項は、地域社会のニーズとの適合性、目標、ロータリアンの直接関与、予算の内訳、予算を裏付ける書類、見積書などを準備する必要があります。

### 3. 3. グローバル補助金

グローバル補助金は、ロータリーの重点分野に該当し、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動を支援します。グローバル補助金では、職業研修チームの帰国後、奨学生の卒業後、プロジェクトの最終報告書の提出後にも、長期的な影響をもたらすことを目指しています。それを「持続可能性」といいますが、それには6つの要件が必要になってきます。

1. 地域社会の強みとニーズを調査する。
2. 恩恵を受ける人々に関与してもらう。
3. 研修、教育、呼びかけを行う。
4. 現地で物資を調達する。
5. 現地の資金源を確保する。
6. モニタリングと評価を欠かさない。

世界各地にはさまざまな課題が存在します。ロータリーの活動の焦点を絞り、持続可能な変化を確実にもたらすため、ロータリー財団は複数の重点分野を選びました。これらの分野に重点的に取り組むことで、明確な目標を定め、最大限の影響を生み出せます。

7つの重点分野は

- ・平和構築と紛争予防
- ・疾病予防と治療
- ・水と衛生
- ・母子の健康
- ・基本的教育と識字率向上
- ・地域社会の経済発展
- ・環境

です。

## 4. 2022-23年度補助金申請について

### 4. 1. 補助金申請から実施・報告までの流れ

これからは2022-23年度、阪上ガバナー年度の補助金申請を計画する段階です。会長エレクトや奉仕プロジェクトを実施する委員会でも次年度2022-23年度、補助金を申請してプロジェクトを計画していただきますが、まず12月12日開催されます「補助金管理セミナー」へのご出席が必須となっています。

必ずご参加と、MOU(覚書)のご提出をお願いします。もし、次年度プロジェクトの計画が今のところなくても補助金管理セミナーへの出席、MOUの提出をお願いします。2019-20年度、2020-21年度に新型コロナウイルス感染症対応の追加申請がありました。奨学生候補が出現するかもしれません。参加資格だけでも取得を切にお願いします。

#### 4. 2. 申請要項の改正

地区補助金やグローバル補助金の申請要項をこの度改正することとなりました。

1. 地区補助金による奉仕プロジェクト・VTT(2022-23年度阪上ガバナー年度)  
「補助金額 プロジェクト予算の50%以下、最大40万円(2022-23年度においては、補助金が申請予算額の40%となっても実施できる計画であること。)」としました。従前は50%以下、最大50万円でした。

2. 地区奨学金タイプ1(2021-22年度吉岡ガバナー年度)  
支給対象国内の高校、高等専門学校、大学、大学院等で修学するための奨学金で、奨学金額20万円の地区奨学金タイプ1(2021-22年度)については募集人数を8名とします。

3. 地区奨学金タイプ2(2022-23年度阪上ガバナー年度)  
支給対象国外の大学、大学院等で修学するための奨学金、対象期間6か月以上1年間以内、奨学金額9,000米ドルの地区奨学金タイプ2は募集人数を1名としますが、地区奨学金タイプ3の合格者がいない場合は2名に変更する場合があります。

2021-22年度までは12,000米ドルでしたので、奨学金額が少なくなっていました。

4. 地区奨学金タイプ3(2022-23年度)  
支給対象国外において、文化・芸術・語学の研修を行うための奨学金、対象期間3週間以上6か月以内、奨学金額5,000米ドルの地区奨学金タイプ3は募集人数は1名とします。このタイプは変更はございません。

5. グローバル補助金人道的プロジェクト  
財団の資金モデルの変更、すなわちDDF拠出の80%しかWFから拠出されない、という変更によるクラブ負担への影響をできるだけ小さくするために地区財団活動資金DDFの上乗せ額を従来の2.5倍から3倍に改正しました。その結果、クラブ拠出額の6.4倍が日本側として資金調達できることとなります。この改正は、2021年9月26日以降の地区への申請分から適用されます。

6. グローバル補助金VTT(職業研修チーム)及び奨学金  
同様に資金モデルの変更によるクラブ負担への影響をできるだけ小さくするために地区財団活動資金DDFの上乗せ額を従来の5.5倍から6倍に改正しました。その結果、クラブ拠出額の11.8倍が日本側として資金調達できることとなります。この改正も、2021年9月26日以降の地区への申請分から適用されます。

#### 5. 最後に

2680地区吉岡ガバナー年度におきましては、ガバナー方針として寄付目標をたてています。

年次基金寄付 会員一人当たり160ドル以上

ポリオプラス寄付 会員一人当たり40ドル以上

恒久基金寄付 ベネファクター・遺贈友の会会員合計10名増

財団月間あたり、クラブの会長・幹事・ロータリー財団委員長のご理解とご協力のもとご寄付をお願い申し上げます。

お金とロータリーアンの奉仕の理想を掛け合わせて、価値あるものを作りましょう。そのためには財団寄付を行い、それに皆様の奉仕の精神を掛け合わせた財団プログラムを実施して、「Doing good in the world 世界でよいことをしよう」というアーチ・クランフの優れた構想を実現しましょう。